

アドアーズ株式会社 2015年3月期 決算説明会

2015年5月28日(木)



keynote
キーノート株式会社

Break
株式会社 ブレイク

Group
株式会社日本介護福祉グループ

JASDAQ : 4712

This program is brought to you by Corporate planning division

目次

1	:	2015年3月期 業績報告	P04
2	:	2015年3月期 セグメント別業績報告. . .	P08
3	:	中期経営計画の概要	P19
4	:	中期経営計画の詳細	P25
5	:	2016年3月期 業績予想	P35

1-1 : 2015年3月期ハイライト

◆ アミューズメント事業

- ・既存店舗におけるクレーンゲームジャンルの強化
(クレーンゲーム機の増台、乙女系景品等、景品ジャンルの拡大に注力)
- ・積極的な業態転換、新店開設
(アドアーズ船橋店、カラオケアドアーズ新大久保店、アドアーズ秋葉原2号店)
- ・カラオケ及びカフェ店舗におけるコラボ企画の積極的な実施
(累計25件の実施)

◆ 不動産事業

- ・年間を通して、順調な一戸建不動産の販売と所有不動産の一部売却
- ・自社施工比率の向上に向けた取り組みの開始
(一戸建分譲部門における販売エリアの拡大、及び不動産アセット部門における収益不動産の取得・売却)

◆ 商業建築事業

- ・デザイン力を活かした大型案件等の新規・リニューアル工事の受注を拡大

◆ その他トピック

- ・日本介護福祉グループの取得による介護事業の開始
- ・韓国カジノ運営会社(マジェスター)への出資

1-2 : 2015年3月期 業績報告(連結PL)

(単位:百万円)

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (実績)	前期差 (百万円)	前期比 (%)
売上高	23,010	23,399	389	1.7%
営業利益	1,318	664	△654	△49.6%
経常利益	1,168	551	△617	△52.8%
当期純利益	943	461	△482	△51.1%

◆ 増収要因

- ・不動産アセット部門の売却実績と、商業建築事業の好調
- ・日本介護福祉グループの連結取込み(3ヵ月分)

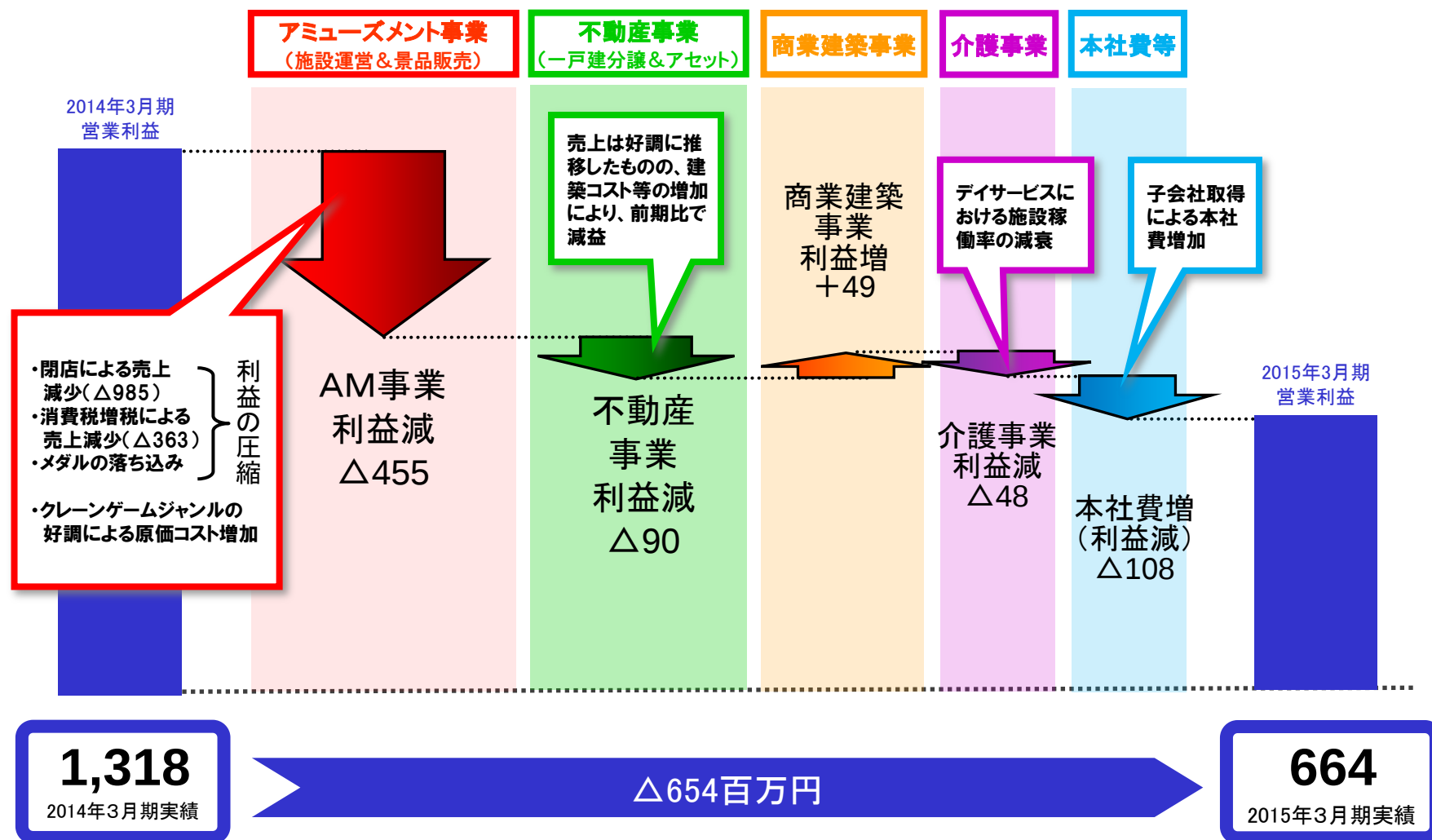
◆ 減益要因

- ・AM施設運営部門における収益率の高いメダルジャンルの不振
- ・景品販売部門の為替変動による影響

※本資料内の“AM”は、“アミューズメント”の略です

1-3 : 営業利益分析

(単位: 百万円)



1-4 : 貸借対照表(連結BS)

(単位:百万円)

資産の部		
	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)
流動資産	7,732	9,612
(現金及び預金)	3,577	4,436
(その他)	4,154	5,176
固定資産	12,895	14,341
(有形固定資産)	6,005	5,421
(無形固定資産)	639	2,092
(投資その他資産)	6,250	6,827
資産合計	20,628	23,954

負債の部		
	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)
流動負債	4,687	6,346
固定負債	4,973	6,159
負債合計	9,660	12,506
純資産の部		
株主資本	10,963	11,145
その他の包括利益 累計額少数株主持	4	303
純資産合計	10,967	11,448
負債純資産合計		
負債純資産合計	20,628	23,954

- ① 日本介護福祉グループの取得に伴う無形固定資産の増加
- ② マジェスター(※)への出資に伴う投資有価証券の増加
- ③ 日本介護福祉グループの取得に伴う借入等負債の増加

※ 韓国、済州島においてカジノ施設を運営
(子会社との合併により商号をJBアミュー
ズメントからマジェスターに変更)

1-5 : キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	
営業キャッシュフロー	2,352	3,135	
税前当期利益	1,076	442	・事業収益減
減価償却費	1,792	1,450	・AM店舗閉店に伴う機器売却 ・償却進行
売上債権の増減(△は増加)	322	81	
たな卸資産の増減(△は増加)	△726	△297	・販売用不動産の取得
仕入債権の増減(△は減少)	△232	45	
その他	120	1,414	
投資キャッシュフロー	△957	△3,147	・収益不動産の取得 ・マジェスター出資
財務キャッシュフロー	△345	957	
現金及び現金同等物の期末残高	2,846	3,791	・借入の増加

2015年3月期 セグメント別実績報告

(単位: 百万円)



2-1 : セグメント別業績 アミューズメント事業

(単位:百万円)

アミューズメント事業 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	16,613	15,138	△1,474	△8.9%
セグメント利益	1,319	863	△455	△34.5%

◆ 減収要因

- ・店舗数が減ったことによる売上高の減少
- ・消費税増税を含む消費ニーズの減退

◆ 減益要因

- ・消費税増税や収益率の高いメダルジャンルの落ち込み
- ・クレーンゲームジャンルの好調による原価コストの増加
- ・景品販売部門における収益率の高いヒット商品の不在、および円安進行による原価高騰

2-2 : セグメント別業績 アミューズメント事業(部門別)

(単位:百万円)

アミューズメント施設運営部門 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	14,901	13,366	△1,535	△10.3%
セグメント利益	1,206	787	△419	△34.7%

→ 店舗の閉店や外的要因等による減収、メダルジャンルの落ち込みや、クレーンゲームジャンルの好調による収益の圧縮

景品製造・販売部門 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	1,711	1,772	+61	+3.6%
セグメント利益	109	76	△33	△30.3%

→ クレーンゲームジャンルの好調により売上は増加したものの、ヒット商品の不在、円安進行の影響による原価高騰により減益

2-3 : ジャンル別業績

(単位: 百万円)

アミューズメント施設運営部門 過去5ヵ年既存店前年比推移 (アドアーズ店舗のみ、ブレイク店舗含まず)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
既存店前年比(%)	98.7%	99.1%	92.4%	96.3%	95.1%
期末既存店舗数※	79	66	64	54	53
期末総店舗数	80	66	65	56	55

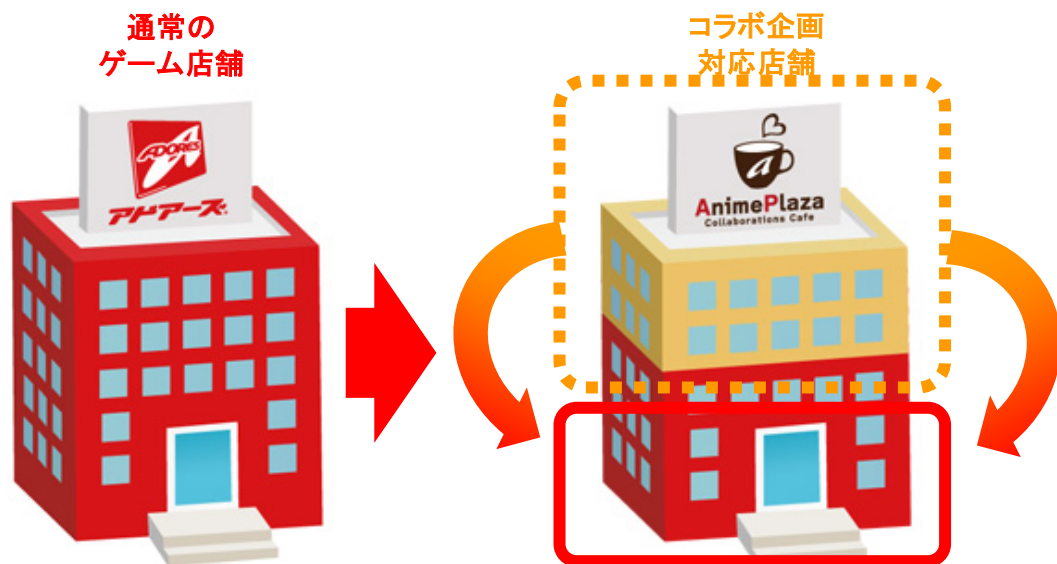
※開店から13ヵ月以上経過した店舗を「既存店」としております。

アミューズメント施設運営部門 ゲームジャンル別実績 前年比 (アドアーズ店舗のみ、ブレイク運営店舗含まず)

	2014年3月期	構成比	2015年3月期	構成比	前期差	増減率	既存店 前年比
メダルゲーム計	5,999	41.4%	5,110	38.7%	△888	△14.8%	89.0%
メダルゲーム	4,851	33.5%	4,177	31.7%	△673	△13.9%	90.1%
パチンコ・パチスロ機	1,147	7.9%	932	7.1%	△215	△18.7%	84.4%
クレーンゲーム	3,500	24.2%	3,620	27.4%	+ 120	3.4%	104.6%
プリクラ	520	3.6%	401	3.0%	△119	△22.9%	78.5%
アーケードゲーム	3,558	24.6%	2,904	22.0%	△654	△18.4%	87.9%
その他(コンテンツ関連含む)	907	6.3%	1,162	8.8%	+ 255	+ 28.1%	132.6%
合計	14,487	100.0%	13,199	100.0%	△1,287	△8.9%	95.1%

2-4 : コンテンツ関連施策の成果

コラボ企画の実施による収益への影響



- ◆ コラボ企画の“シャワー効果(顧客流入)”により、
クレーンゲームジャンルの売上が **10% アップ**
- ◆ グッズ販売や飲食売上により、通常のゲーム店舗に
比べ店舗全体の粗利率が **5% アップ**



©カフェノウェア/ハマトラ製作委員会



©岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ



©2015 avex music creative Inc. All rights reserved.



©RN/KC AMW/ID



©ウダゴ/エム・ツー/アスキー・メディアワークス/プラコン製作委員会

2-5 : セグメント別業績 不動産事業

(単位:百万円)

不動産事業 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	4,987	5,839	+852	+17.1%
セグメント利益	504	414	△90	△17.9%

◆ 増収要因

- ・一戸建分譲部門における着実な販売戸数の伸張
- ・不動産アセット部門の所有不動産の売却

◆ 減益要因

- ・市況の影響による建築コストの増加
- ・2014年3月期実績と比べ、大口案件の不在により減益

2-6 : セグメント別業績 不動産事業(部門別)

(単位:百万円)

一戸建分譲部門 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	3,595	3,688	+93	+2.6%
セグメント利益	183	132	△51	△27.9%

→ 土地の仕入れ競争激化の中で売上伸張も、市況の影響を受けたコスト増等により減益

不動産アセット部門 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	686	1,645	+959	+139.8%
セグメント利益	280	222	△58	△20.7%

→ 保有不動産の売却や安定した賃料収入により売上拡大も、大口案件の不在により前期比較では減益

2-7 : セグメント別業績 商業建築事業

(単位:百万円)

商業建築事業 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	1,407	1,748	+341	+24.2%
セグメント利益	75	124	+49	+65.3%

◆ 増収要因

- ・独自のデザイン・設計による差別化により、大型のリニューアル案件や、新規商業施設の案件を複数受注

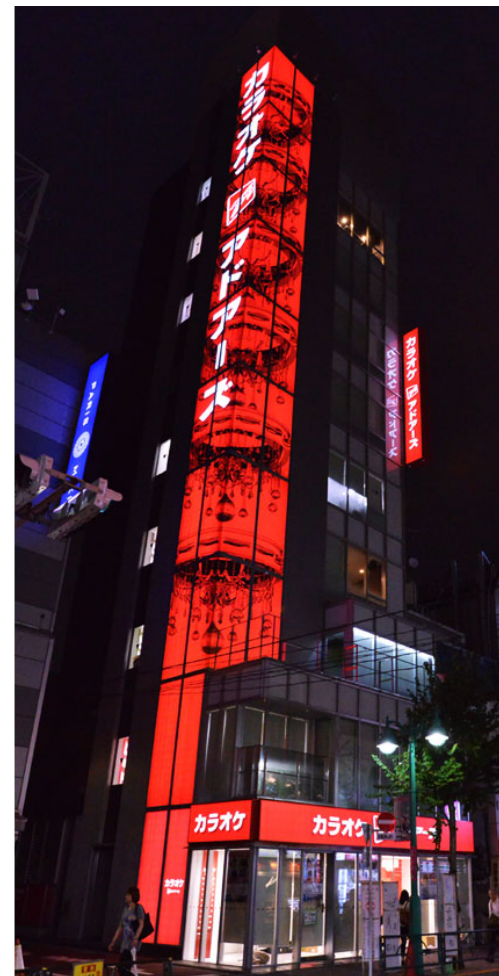
◆ 増益要因

- ・大型のパチンコホールやカラオケ等、利益率の高い新規案件を含む124件の施工引渡しが順調に進行

2-8 : 商業建築事業の施工実績

(単位: 百万円)

商業建築事業 業績



施行事例 : 左からパチンコホール(リニューアル工事)、パチンコホール(新築工事)、自社カラオケ店舗(カラオケアドアーズ新大久保店)

2-9 : セグメント別業績 介護事業

(単位:百万円)

介護事業 業績

	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	—	669	—	—%
セグメント利益	—	△48	—	—%

※介護事業は、日本介護福祉グループの2015年1月から3月までの業績を取り込んでいるため、前期比較はありません。

- ◆ 類似したサービスを行う同業の増加による競争激化等により、直営/FC運営施設の稼働率が伸び悩み、苦戦

Memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

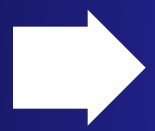
.....

3 : アドアーズグループ中期経営計画



3-1 : 数値目標

◆Vision

 「面白さと楽しさと安心を提供し続ける
企業グループを目指します」

◆数値目標(3年後)

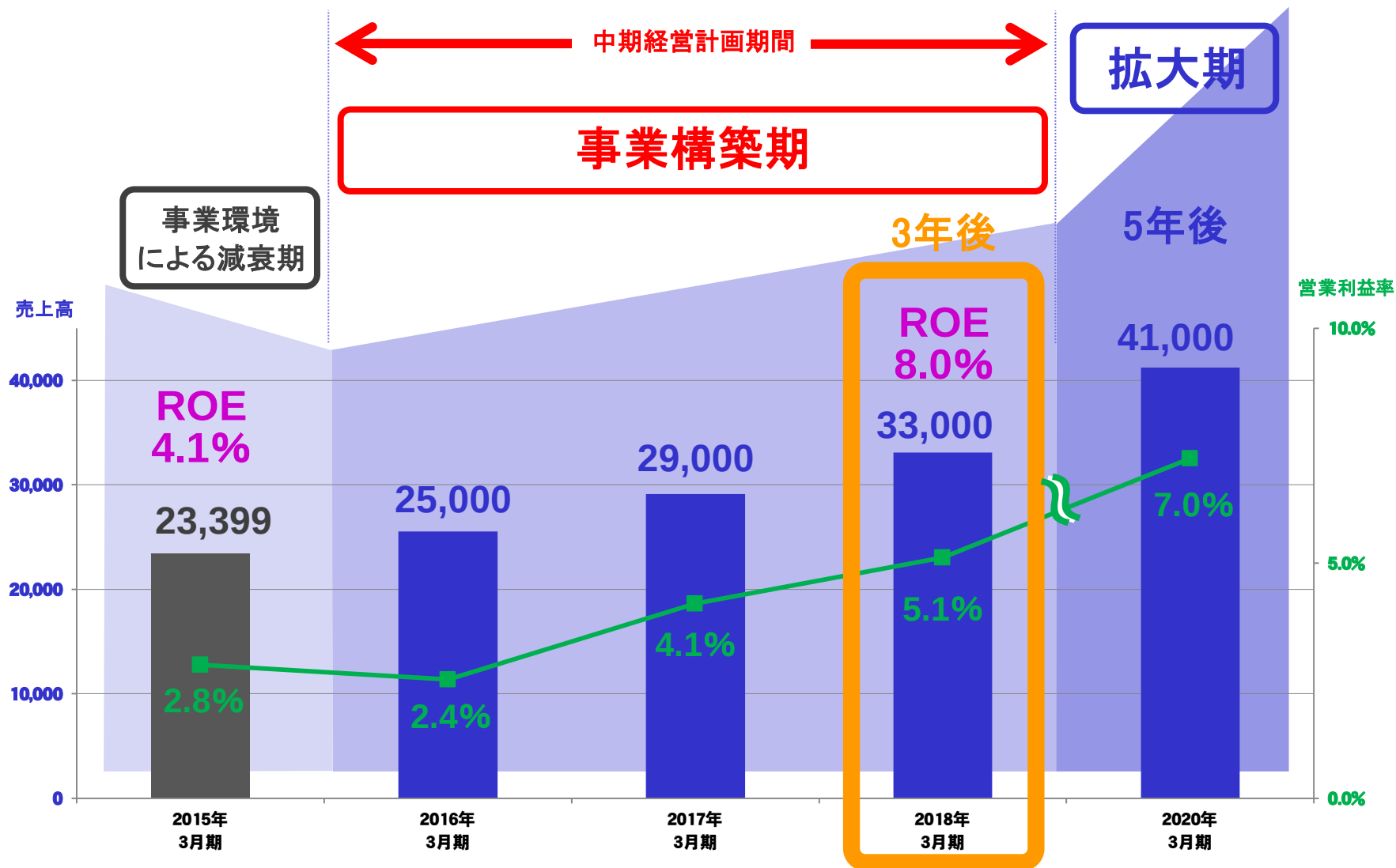
売上高	330億円
-----	-------

経常利益	14億円
------	------

ROE	8%
-----	----

3-2 : 数値計画①

(単位:百万円)



3-3 : 数値計画②

(単位:百万円)

	2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (今期)	2017年3月期 (2年目)	2018年3月期 (3年目)	2020年3月期 (5年目)
売上高	23,399	25,000	29,000	33,000	41,000
営業利益	664	600	1,200	1,700	2,900
経常利益	551	500	1,000	1,400	2,300
当期純利益	461	300	650	950	1,400

トピックス

- ◆ 介護事業の収益拡大に向けた事業の確立
- ◆ 総合アミューズメント事業としての業容の拡大

3-4 : 各セグメントの成長戦略

1) アミューズメント事業

- ・ 国内では、アニメコンテンツ等の活用・開発による総合アミューズメント事業の確立
- ・ 海外では、Jトラストグループの活動地域において、現地ニーズに合わせたアミューズメント施設の展開を目指す

2) 不動産事業/商業建築事業

- ・ 国内不動産事業・商業建築事業の収益拡大
- ・ Jトラストと連携し、日本基準の住宅・建物等の東南アジアでの展開を目指す

3) 介護事業

- ・ “施設利用者の拡大”及び“人材獲得・育成”に関する各種施策による収益の強化・拡大
- ・ 病院等・大型入居施設(老人ホーム等)・デイサービスによる一体型介護サービスの展開

3-5 : 成長戦略に合わせた新体制

役職(予定)		氏名	重要な兼職の状況等
重任	取締役	ふじさわ のぶよし 藤澤 信義	Jトラスト 代表取締役社長 J TRUST ASIA PTE.LTD. 代表取締役社長 他
新任	代表取締役社長	みよし まこと 三吉 誠	Jトラスト取締役(経営戦略部、広報・IR担当) 日本介護福祉グループ 代表取締役社長
重任	取締役	いしい まなぶ 石井 学	アドアーズ 取締役(AM統括本部担当)
重任	取締役	うえはら せいじ 上原 聖司	日本介護福祉グループ 取締役
重任	取締役	はしもと やすし 橋本 泰	キーノート 代表取締役社長
新任	取締役	すぎはら ゆうこ 杉原 優子	アドアーズ 経営企画部部長
新任	社外取締役	さいとう よしまさ 齋藤 義正	慶應義塾大学 准教授 北里大学北里研究所病院 非常勤医師
新任	社外取締役	いずみ のぶひこ 泉 信彦	株式会社Smart Ebook.com(現 株式会社フォーサイド) 取締役

※ 2015年6月25日開催予定の第48回定時株主総会における承認を経て正式に就任する予定です。

新体制のもと、中期経営計画の実現に向け、邁進します

4 : 中期経営計画の詳細



4-1 : アミューズメント事業①

アミューズメント施設運営部門

- ・アニメ等のコンテンツを活用できる施設の全国展開
- ・コンテンツを活用した総合アミューズメント事業の拡大
- ・アミューズメント施設の海外進出



景品製造・販売部門

- ・アミューズメント景品以外の商品企画販売(物販)の拡充
- ・海外向け商品販売の開始



4-2 : アミューズメント事業②

総合アミューズメント事業に向けた既存コンテンツ 関連事業の拡大

都心店舗発のコラボ企画を
全国横断的に企画・実施

(コラボジャンル)

- ・アニメ
- ・漫画
- ・ゲーム
- ・スマホアプリ
- ・声優
- ・アイドル
- ・アーティスト
等



©カフェノウェア/ハマトラ製作委員会



©RN/KG AMW/ID



©ウダジヨ/エム・ツー/アスキー・メディアワークス/フロン製作委員会



©岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・ひえろ



©2015 avex music creative Inc. All rights reserved.

- ◆ 既存店舗の業態転換及び
首都圏外への新規出店

現時点
4 店 **➡** 3年後
12 店

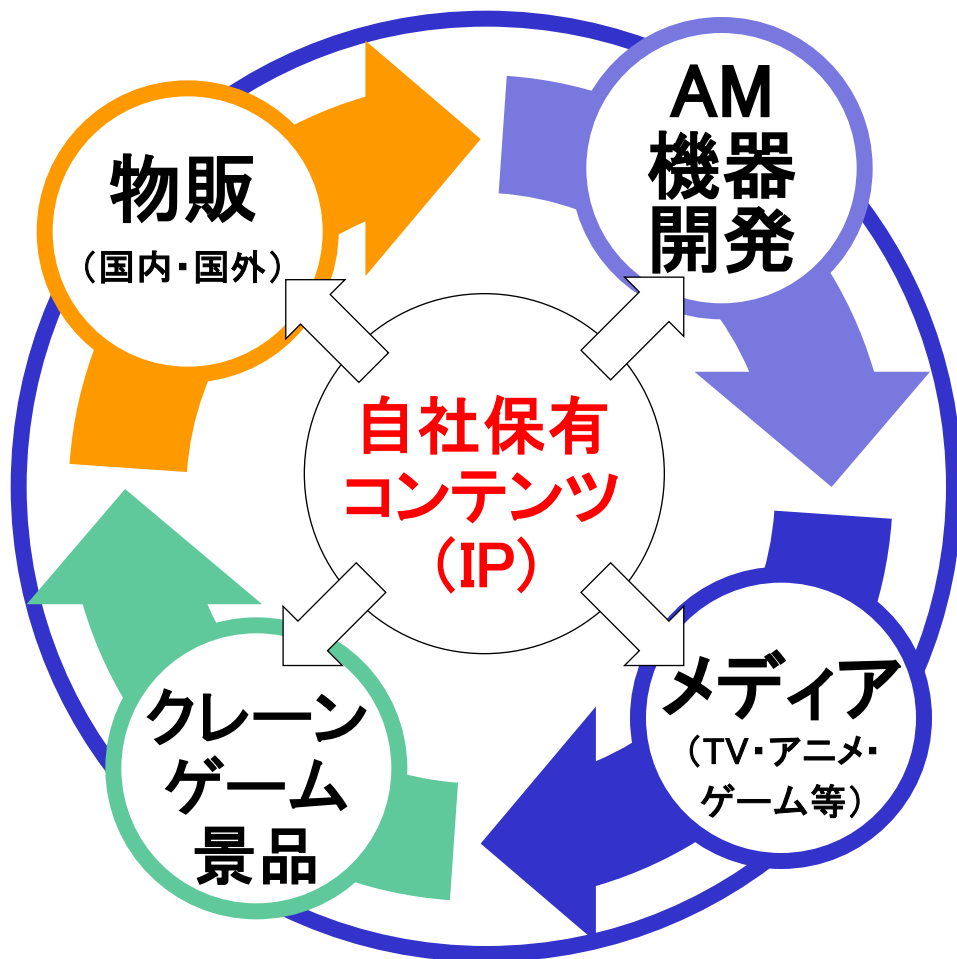
- ◆ コラボ企画の実施数増加
(店舗数増による全国展開が可能)

現時点累計
25 件 **➡** 3年後
75 件/年

著作権者(ライセンサー)との
リレーション強化

4-3 : アミューズメント事業③

コンテンツ(IP)を保有する“ライセンサー”の アドアーズへ



◆ 自社コンテンツ(IP)の開発

- ・アニメやゲーム、声優、アイドル、アーティスト等、幅広いコンテンツの創造に加え、その管理体制の確立

◆ 自社コンテンツ(IP)を活用した既存各事業への付加価値の創出

- ・グループ会社によるグッズ化、商品の開発から販売
- ・ネット/放送媒体等による情報発信等を見据えた展開の検討

JTラストグループを含めた
シナジーの構築が可能

4-4 : 不動産事業/商業建築事業

不動産事業

- ・販売エリア及び取扱い(開発)規模の拡大による戸建分譲戸数の増加

現在 **85** 件/年 ➡ 3年後 **130** 件/年

- ・自社施工比率の向上によるコスト圧縮

現在 **12** % ➡ 3年後 **75** %

- ・高品質な“メイド・イン・ジャパン”クオリティによる海外不動産事業の展開を目指す

商業建築事業

- ・デザイン力を活用し、新たな分野を含めた商業建築の受注工事件数の拡大

現在 **25** 件/年 ➡ 3年後 **40** 件/年

※1件あたり500万円以上の設計または施工の受注件数



4-5 : 介護事業①

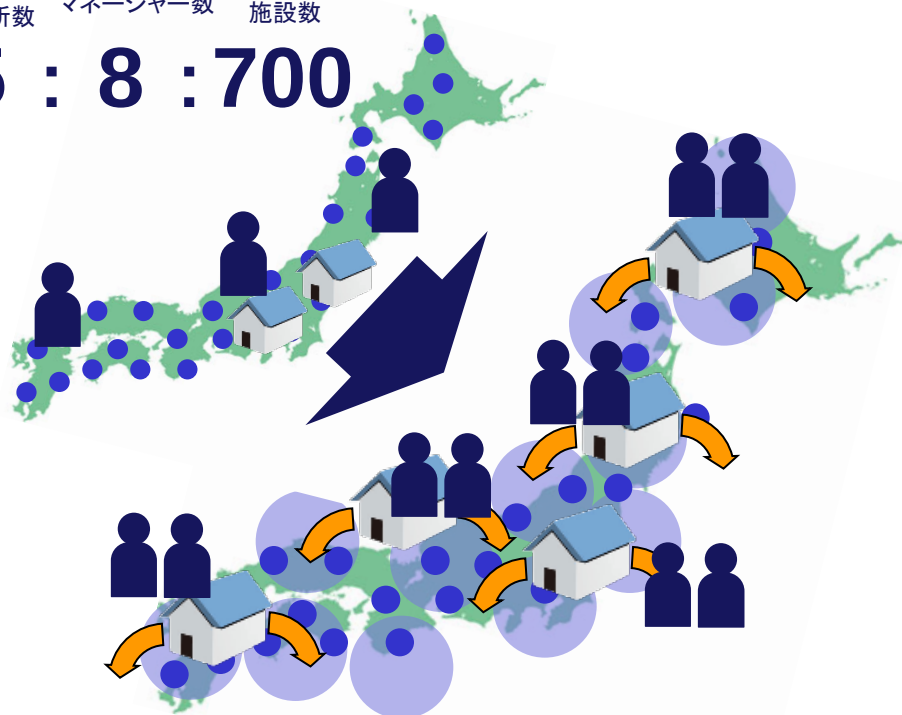
「施設利用者の拡大」による、既存事業の収益強化 及び収益拡大

ケア
マネージャー
事務所数

ケア
マネージャー数

通所介護
施設数

5 : 8 : 700



120 : 240 : 700

- ◆ 気軽に相談ができる窓口を
既存施設近隣に設置すること
で、利用者のニーズに応える
- ◆ 既存運営施設のサービス内容
と質を見直し、リピート率の向上
を図る
- ◆ ニーズに合わせた介護施設の
新設等、新事業の構築による
収益の拡大を図る

3年後

現在 **5** 事務所 ➔ **120** 事務所

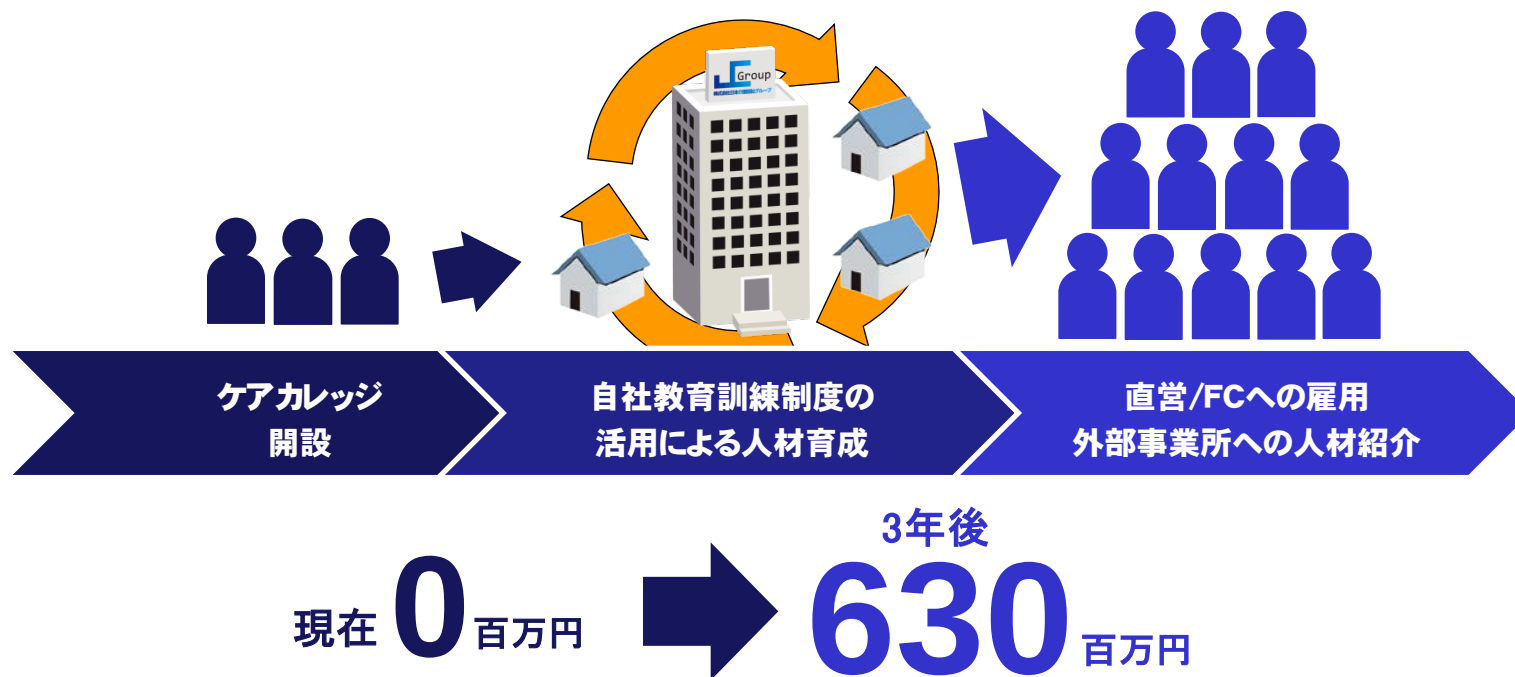
※施設開設に伴う負担増により、49期は一時的に収益悪化

4-6 : 介護事業②

(単位:百万円)

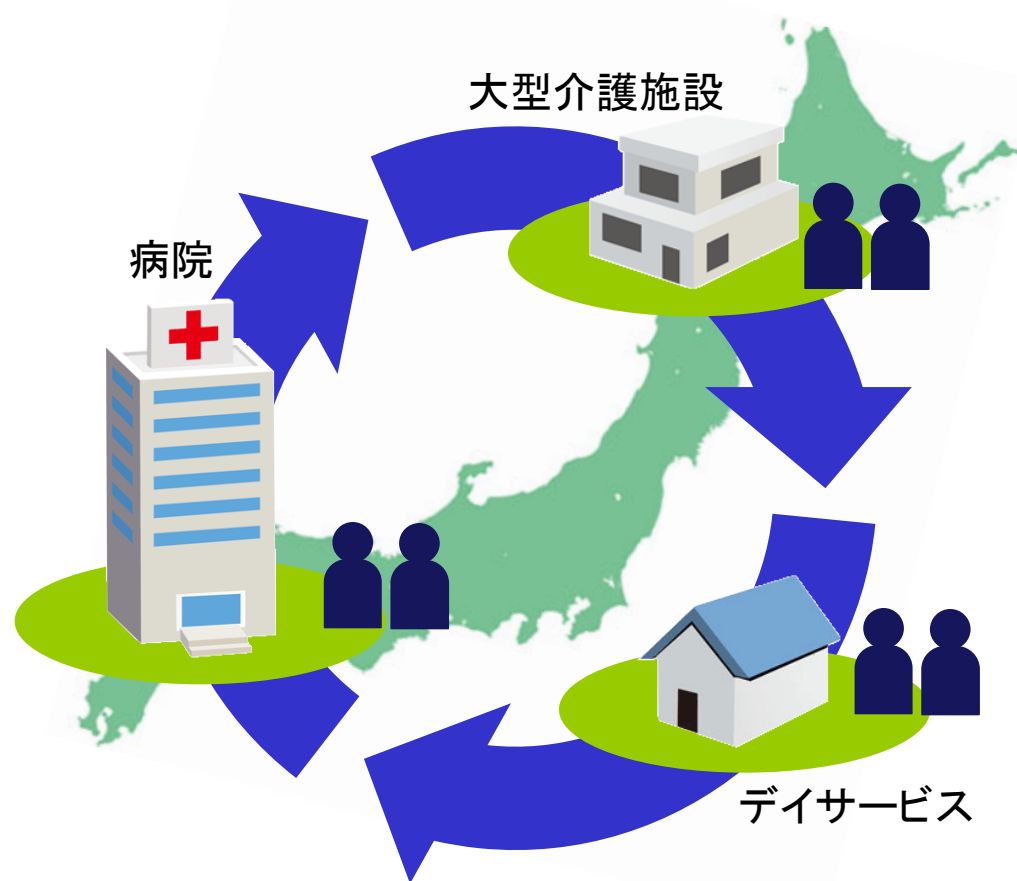
「介護人材の獲得・育成」を目的とする、有資格者を育成する教育機関(ケアカレッジ)の開設

- ◆自社教育訓練制度と、外部から優秀な講師の招集
- ◆直営・フランチャイズの雇用創出
- ◆外部への人材紹介を見据えた事業の構築



4-7 : 介護事業③

日本最大のデイサービス事業会社による 次世代介護サービスの仕組みづくり



◆ 超介護時代を見据え、介護の入口となるデイサービスから病院・大型介護施設まで揃え、介護のワンストップサービスを展開

施設利用者への付加価値を高め、収益の更なる拡大を目指す

4-8 : 数値計画(セグメント含む)

(単位:百万円)

	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (今期)	2017年3月期 (2年目)	2018年3月期 (3年目)
売上高	23,399	25,000	29,000	33,000
アミューズメント事業	15,138	15,000	14,900	14,800
不動産事業 / 商業建築事業	7,587	6,500	7,100	8,000
介護事業	669	3,500	7,000	10,200
営業利益	664	600	1,200	1,700
アミューズメント事業	863	1,050	1,050	1,080
不動産事業 / 商業建築事業	538	470	550	640
介護事業	△48	△240	160	490
会社費用等調整額	△670	△680	△560	△510
経常利益	551	500	1,000	1,400
当期純利益	461	300	650	950

Memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

5 : 2016年3月期 業績予想



5-1 : 2016年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	2015年3月期 (前期実績)	2016年3月期 (今期予想)	前期差 (百万円)	前期比 (%)
売上高	23,399	25,000	1,601	6.8%
営業利益	664	600	△64	△9.7%
経常利益	551	500	△51	△9.4%
当期純利益	461	300	△161	△34.9%

今期施策

【アミューズメント①】 サブカルチャー層やシニア層、海外からの観光客等、ターゲットを広げた集客施策の強化による収益率の向上

【アミューズメント②】 新たなコンテンツ関連事業の拡大と自社コンテンツの開発に向けた新規事業に着手

【不動産】 横浜支店の開設による用地の積極的な仕入れ等により収益拡大

【介護①】 ケアマネージャー事務所の積極的な開設とケアマネージャーの採用による既存事業の収益強化、介護サービスの向上による稼働率の強化

【介護②】 教育機関(ケアカレッジ)や新たな介護施設の開設準備

5-2 : 株主還元

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予定)		2016年3月期 (予想)
配当/1株あたり	2.0円	2.0円		2.0円
配当性向	29.5%	60.4%		92.8%
EPS (1株当たり当期純利益率)	6.7円	3.3円		2.1円

今後についても、株主の皆様にも安定的かつ
継続的な配当を目指してまいります。

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性がありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

參考資料



アドアーズ会社概要

会社概要

(2015年3月末時点)

アドアーズ株式会社

所在地:東京都 港区 虎ノ門 1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン
資本金:44億5百万円
発行済み株式総数:139,259,092株
従業員数 : アドアーズグループ全体:667名(社員)／842名(アルバイト)
アドアーズ単体 : 218名(社員)／624名(アルバイト)

東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード:4712 (J-stock)

親会社

Jトラスト株式会社

東京証券取引所 市場第2部
証券コード:8508 (持株比率42.90%)

子会社

キーノート株式会社

<http://www.key-note.jp/>

株式会社ブレイク

<http://www.s-break.jp/>

株式会社日本介護福祉グループ

<http://www.jcgroup.co.jp/>



大株主の状況

※2015年3月期末時点状況

株主名	所有株式数	持株比率
Jトラスト株式会社	59,755,500	42.91%
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	40,825,000	29.32%
鈴木 高 幸	4,364,996	3.13%
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	3,420,000	2.45%
岡 田 浩 明	1,212,000	0.87%
日本証券金融株式会社	733,000	0.52%
カブドットコム証券株式会社	595,000	0.42%
星 久	545,848	0.39%
アドアーズ株式会社 従業員持株会	512,930	0.36%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	504,000	0.36%

※持株比率は、当社が実質的に所有している自己株式を控除して計算しております。(少数第2位未満は切り捨て)

5カ年業績(PL)

(単位:百万円)

PL過去5カ年推移

	2011年3月期 (単体)	2012年3月期 (単体)	2013年3月期 (連結)	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)
売上高	25,945	21,847	19,991	23,010	23,399
売上原価	23,156	18,750	17,506	19,226	20,030
売上総利益	2,788	3,096	2,485	3,783	3,368
販売費及び一般管理費	2,525	2,093	2,063	2,465	2,704
営業利益	263	1,002	421	1,318	664
営業外収益	132	132	128	127	73
営業外費用	321	203	178	277	186
経常利益	74	931	372	1,168	551
特別利益	41	341	296	151	14
特別損失	4,289	331	473	243	124
税金等調整前当期純利益	△4,173	941	195	1,076	442
法人税等合計	24	21	29	133	△18
当期純利益	△4,197	920	165	943	461



2013年3月期以降連結

5カ年業績(BS)

(単位:百万円)

BS過去5カ年推移 (2013年3月期以降、連結)

	2011年3月期 (単体)	2012年3月期 (単体)
流動資産	8,235	5,434
固定資産	16,303	14,420
資産合計	24,629	19,855
1年内償還予定の社債	633	212
短期借入金	218	1,207
1年内返済予定の長期借入金	4,998	3,815
流動負債	12,099	9,363
社債	412	200
長期借入金	3,912	334
固定負債	4,938	1,174
負債合計	17,037	10,538
純資産合計	7,591	9,316
負債純資産合計	24,629	19,855

2013年3月期 (連結)	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)
7,121	7,732	9,612
13,561	12,895	14,341
20,683	20,628	23,954
—	—	120
662	971	1,602
1,147	1,345	2,007
5,073	4,687	6,346
—	—	320
4,319	3,906	4,667
5,448	4,973	6,159
10,521	9,660	12,506
10,162	10,967	11,448
20,683	20,628	23,954



2013年3月期以降連結

主な指標の推移

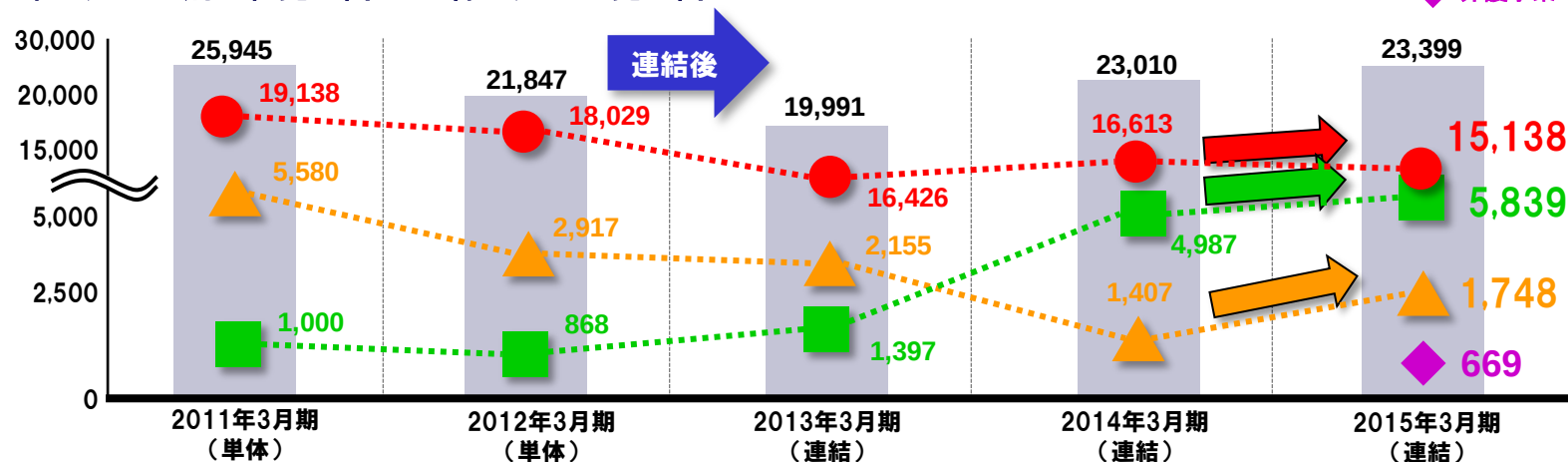
	2011年3月期 (単体)	2012年3月期 (単体)	2013年3月期 (連結)	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)
ROE (自己資本当期純利益率)	△42.5%	10.9%	1.6%	8.9%	4.1%
EPS (1株当たり当期純利益)	△39.77円	7.94円	1.36円	6.78円	3.31円
ROA 総資本当期純利益率	△14.5%	4.1%	0.8%	4.6%	1.9%

過去業績(セグメント別売上高/セグメント利益)

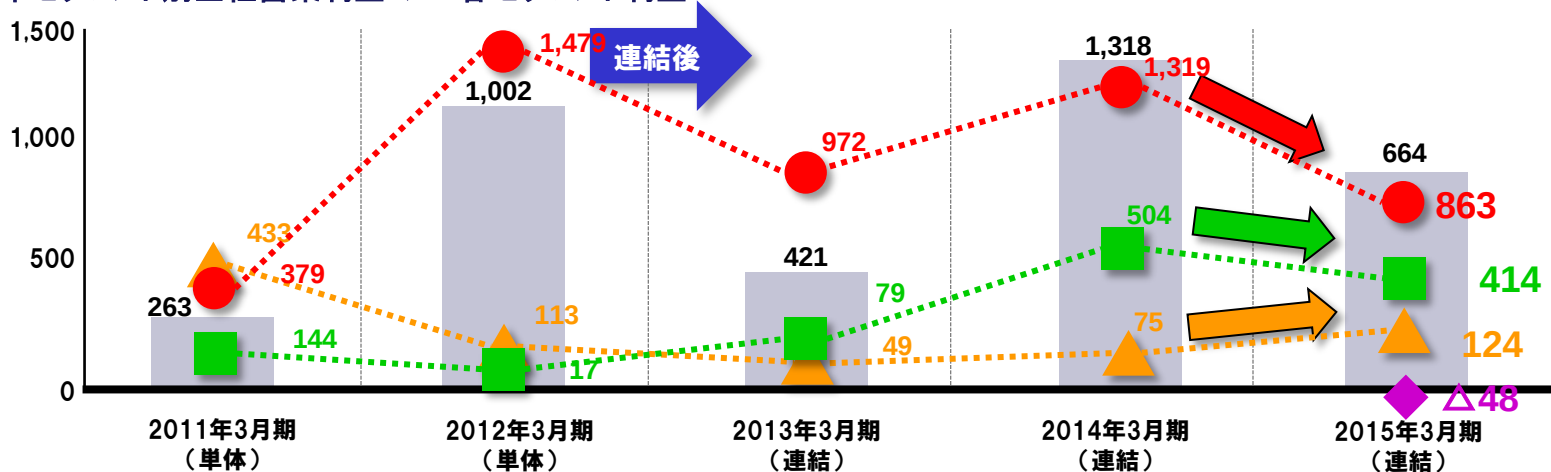
(単位: 百万円)

- : アミューズメント事業
- ▲: 建築事業
- : 不動産事業
- ◆: 介護事業

5ヵ年セグメント別全社売上高 / 各セグメント売上高



5ヵ年セグメント別全社営業利益 / 各セグメント利益



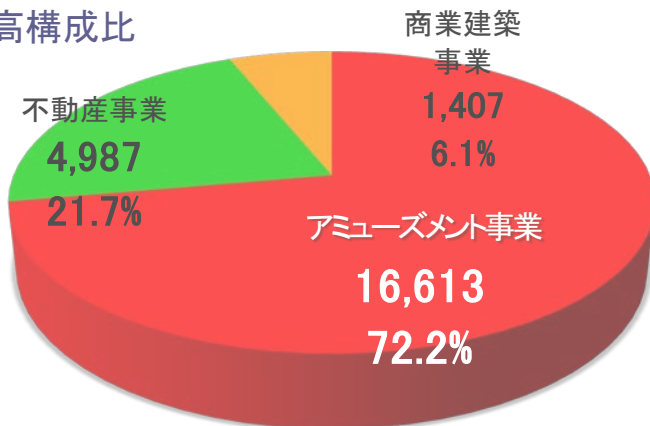
過去業績(セグメント比率)

(単位:百万円)

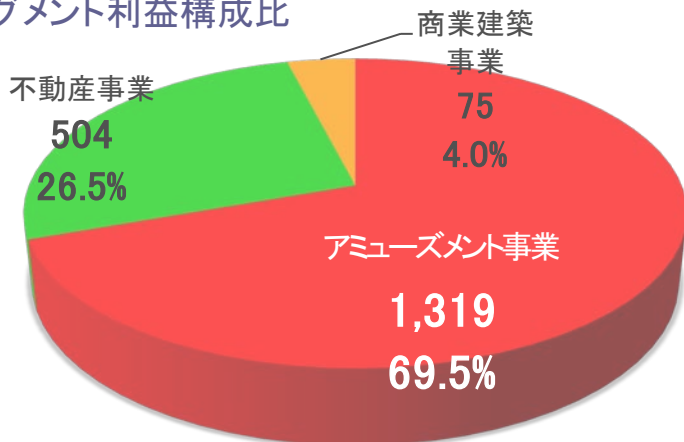
セグメント比率(売上・セグメント利益) 前年度対比

2014年3月期 (連結)

売上高構成比

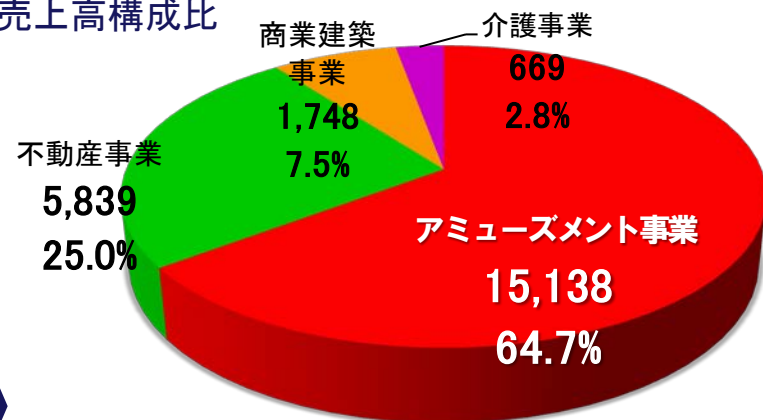


セグメント利益構成比

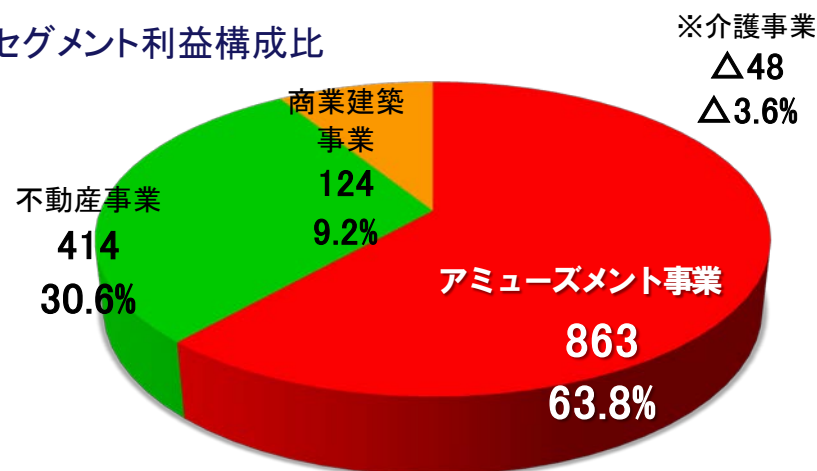


2015年3月期 (連結)

売上高構成比



セグメント利益構成比



ジャンル別 既存店売上高／在客数 前年比月次推移

【売上高】 アミューズメント事業 既存店ジャンル別売上高 前年比月次推移（アドアーズ運営店舗のみ）

	2014年 4月	2014年 5月	2014年 6月	2014年 7月	2014年 8月	2014年 9月	2014年 10月	2014年 11月	2014年 12月	2015年 1月	2015年 2月	2015年 3月
メダル ゲーム	95.5%	92.0%	95.9%	90.6%	88.5%	89.1%	90.1%	93.7%	88.1%	87.6%	87.9%	81.9%
クレーン ゲーム	92.5%	101.7%	95.5%	103.1%	102.1%	102.1%	106.7%	119.1%	105.4%	100.1%	123.0%	109.3%
その他	90.1%	90.3%	83.5%	89.6%	90.5%	92.6%	96.0%	104.5%	97.8%	96.9%	101.7%	91.2%
計	92.5%	93.6%	90.4%	93.2%	92.9%	93.9%	96.5%	104.6%	96.7%	94.6%	102.1%	92.6%

【在客数】 アミューズメント事業 既存店ジャンル別在客数 前年比月次推移（アドアーズ運営店舗のみ）

	2014年 4月	2014年 5月	2014年 6月	2014年 7月	2014年 8月	2014年 9月	2014年 10月	2014年 11月	2014年 12月	2015年 1月	2015年 2月	2015年 3月
メダル ゲーム	97.5%	95.3%	96.7%	97.4%	97.9%	91.8%	92.4%	93.7%	84.7%	86.9%	95.2%	85.9%
クレーン ゲーム	92.1%	101.9%	91.2%	97.2%	101.4%	99.5%	103.0%	113.8%	106.7%	101.9%	116.7%	103.5%
その他	87.1%	86.6%	79.8%	82.3%	84.9%	87.8%	92.2%	90.2%	86.0%	87.7%	94.8%	85.6%
計	91.9%	91.2%	87.6%	89.6%	91.7%	90.3%	92.9%	93.2%	86.7%	88.2%	96.2%	86.8%



当社に関する詳しい情報は、HPをご覧ください。

(注) この配布資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社が作成日現在入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況等の不確実な要因の影響を受けます。したがって実際の業績は、この配布資料に記載されている目標とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料の問い合わせ先： アドアーズ株式会社 経営企画部 IR・広報担当 Tel：03-5843-8888

E-Mail IR@adores.co.jp / URL <http://www.adores.co.jp/>